



うちのイチ押し!

今月号に掲載している講座・イベント・展覧会の詳しい内容を、その事業の担当者が直接PRするコーナーです。

今回ご紹介するのは2008年サミット財務大臣会議大阪開催記念・環境月間行事「地球環境シンポジウム」です。

6月13日と14日、大阪でサミット財務大臣会議が開催されます。財務大臣会議といっても、世界経済・金融に関する事柄だけを話し合うわけではありません。世界経済に大きな影響を与えるエネルギーや気候変動など地球環境問題への対応なども話し合われる予定です。

このたび、財務大臣会議が大阪で開催されることを記念したイベントとして、シンポジウム「環境ファンドの役割と今後の事業展開」(6月4日(水)15:00～、大阪ガスビルディング)と「地球温暖化と人々の暮らし」(6月7日(土)13:00～、陳列館ホール)を実施します(いずれもP19参照)。

環境問題をもっと身近に感じてみたい!!

なんて思っている人は是非ご参加ください!

地球温暖化など地球規模の環境変化が顕著になっている今、環境問題に対する関心は非常に高まっています。環境に配慮した商品があらゆる企業から生産され、また、消費者に支持されているということは、日常生活において環境問題への対策が浸透しているとも言えます。

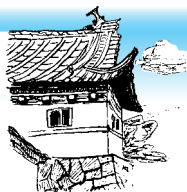
6月は環境月間。シンポジウムに参加して環境保全の仕組みや問題について知識を深めてみませんか。

2008年サミット財務大臣会議大阪推進協力委員会では、これらのシンポジウムの参加者を大募集しています。

なお、そのプレイベントとして、「どこにある? 環境にやさしい水と食べもの」(5月31日(土)14:00～、阿倍野市民学習センター)を実施します(P7参照)。「水」や「食料」に関心のある方はこちらにもご参加ください。

詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www.summit2008osaka.jp/>



おおさか歴史探訪

大阪の史蹟や歴史資料を毎号連続でご紹介します。

けい たく えん
慶 沢 園

— 住友家が残した近代和風庭園 —

天王寺公園の中ほど、大阪市立美術館の東側に、純日本風の庭園として知られる慶沢園があります。住友家が本邸をこの地に移したときに、約10年の歳月をかけてつくられた庭園です。大正7年に完成しました。設計、施工を担当したのは、わが国の近代庭園を確立したといわれている小川治兵衛という人です。

大名庭園をモデルとした庭園で、中島を浮かべた池を中心に東、南、北の3方に築山を築き、変化に富んだ地形をつくりだしています。池の周囲に園路がめぐり、ここを散策することにより、いろいろな地点から池を中心とした景観を望むことができます。園路の中ほどには茶室や四阿も配置されています。

大正14年に住友家は神戸に本邸を移し、敷地は大阪市に寄贈されました。敷地の西半部に市立美術館が建てられ、また庭園の周辺部は改造を受けていますが、池をはじめとした中心部は当時の様子をよく伝えており、大阪市の名勝に指定されています。

春の一日、ゆっくりと庭の散策を楽しんではいかがでしょうか。

(文:教育委員会文化財保護担当)

